

特別講義

明治大学 国際交流基金事業 「研究者交流支援制度」

気候危機と災害報道システム —韓国における災害報道システムと山火事—

2025年10月18日 土 14:00～

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1階 1012教室

講演詳細（使用言語は日本語です）

最近、地球温暖化が急激に進み、自然災害による被害が深刻化している。とくに、豪雨や猛暑、山火事などが頻発し、生活が脅かされているのは、日韓の共通する問題である。今回の講演では、2025年3月、韓国の嶺南(ヨンナム)地域に襲った広範囲の山火事により26名が亡くなった人的被害及び文化遺産、森林、財産の莫大な焼失の状況を分析し、その予防策、および、災害報道システムの現状と課題を探る。さらに、災害について日韓協力の可能性を考えたい。

講師紹介 李鍊先生

鮮文大学校名誉教授。新聞学博士。韓国DMB放送社外理事・韓国行政安全部中央災害管理強化委員・科学技術情報通信部災害放送中央委員会委員・(社団法人)韓国災難情報メディアフォーラム会長。

著書(韓国語):『重大災害処罰と災害管理』博英社、2025年／『国家危機管理と緊急災難警報』博英社、2023年／『災害状況、言論対応及び収拾と広報』2015国家安全処／『日帝強占期朝鮮言論統制史』博英社、2013年／『新聞、テレビジョン消滅』アカネット、2011年／他、多数。

著書(日本語):中江桂子他編『メディアと文化の日韓関係』新曜社、2016年、共著／『朝鮮言論統制史』信山社、2002年／ほか4冊。



主催：明治大学 文学部専任教授 中江 桂子
共催：明治大学 国際連携本部
問い合わせ先： nakae@meiji.ac.jp（中江 桂子）

参加無料